

本校への入学を希望される皆さんへ

新1年生の募集は、毎月11月中旬に願書等の交付を始め、1月上旬(A日程)と3月上旬(B日程)に適性検査を行っています。
また、編入学については、欠員がある限り、年度の途中においても随時募集を行っています。
なお、応募資格として、以下のことを定めています。

1. 保護者の海外勤務に伴う在外生活経験年数が継続して3年以上、帰国後1か年以内とし、日本国籍を有する者。
2. 在留国での通学校が現地校又は国際学校で、継続して3か年以上通学していた者。
3. 保護者と共に居住し、本校への通学に要する時間に無理のない者。

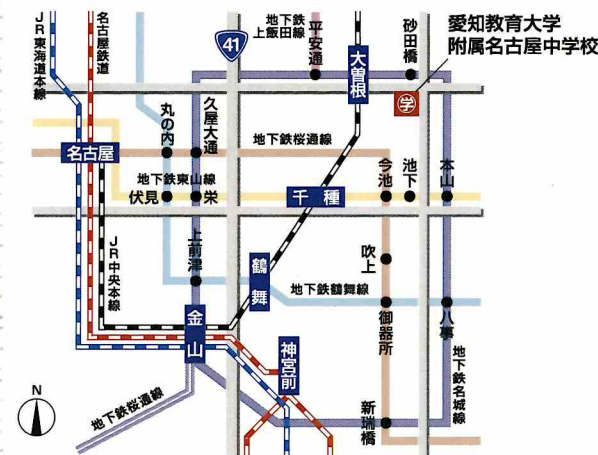
その他御不明な点は、お気軽にお尋ねください。

沿革

- 昭和22年4月 愛知第一師範学校男子部附属中学校を名古屋市東区芳野町に創設
愛知第一師範学校女子部附属中学校を春日井市弥生町に創設
- 昭和23年4月 愛知第一師範学校附属中学校と改称
春日井市弥生町に男子部・女子部が合併
- 昭和24年5月 愛知学芸大学愛知第一師範学校附属中学校と改称 名古屋市西区北押切町天神山に移転
- 昭和26年4月 愛知学芸大学附属名古屋中学校と改称
- 昭和29年3月 名古屋市東区大幸町1の1に移転完了
- 昭和41年4月 愛知教育大学附属名古屋中学校と改称
- 昭和55年4月 帰国生徒学級開設
- 平成16年4月 独立法人化

交通機関

- J R 中央線「大曾根」下車 地下鉄乗り換え
名城線「砂田橋」下車
- 地下鉄 名城線「砂田橋」下車
東山線「栄」又は「本山」から名城線乗り換え
桜通線「久屋大通」又は「新瑞橋」から名城線乗り換え
鶴舞線「上前津」又は「八事」から名城線乗り換え
- 市バス 名古屋駅[名駅15] -<砂田橋>行
池下[幹線1] -<砂田橋下車>-大森車庫前
千種[千種11] -<砂田橋>行
ガイドウェイバス「ゆとりーとライン」
小幡緑地・中志段味・高蔵寺方面 -<砂田橋下車>-大曾根行



国立大学法人
愛知教育大学附属名古屋中学校

〒461-0047 名古屋市東区大幸南一丁目126番地
TEL (052)722-4613(代) FAX (052)722-3812

WEBページアドレス <https://www.nj.aichi-edu.ac.jp/kikoku/kikokuindex.html>
E-mailアドレス: kikokubu@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

Returnee Students Class
Nagoya Junior High School
Affiliated to Aichi University of Education



本校の帰国生徒教育

Returnee Students Class Nagoya Junior High School Affiliated to Aichi University of Education

昭和55年の帰国生徒学級開設以来、多くの帰国生徒を受け入れてきました。この間、日本における生活習慣や学習、行動様式等の早期適応及び海外の生活で身に付けた特性の伸長、活用を目指して指導に当たっています。そうした指導を進めるために、学級定員を15名として、少人数によるきめ細かい指導を心掛けています。

また、外国人講師による英会話の時間や未習部分などを補う学力補充の時間、一般学級の生徒たちとの交流を深めるために様々な機会を設け、魅力ある帰国生徒学級づくりに努めています。



AE 交流授業（一般学級との交流）



外国人講師による英会話の授業



縦割り E 組による学校祭



留学生との外国語補充

私たちの学校



令和3年度 1年生
アメリカより帰国

「E組で過ごす価値は何か？」
と思っと思っています。
私は、帰国した後に、公立の小学校に約1ヶ月通っていました。帰国生徒が私と妹の二人だけで、海外の文化に慣れ親しんだ私にとって、日本の学校で生活することはとても不安でした。なぜなら、文化の違いで友達から嫌な目で見られたくない、みんなにとって当たり前ことができなくて、恥ずかしい思いをしたくないと思っていたからです。だから、帰国したばかりの私にとって日本の学校は緊張する場所でした。
しかし、附属名古屋中学校の帰国学級は違いました。日本の学校では当たり前とされていることができなくても、それを理解してくれる仲間がいます。日本語で分からないことがあっても友達から英語で教えてもらうことができます。また、それぞれの在留国の文化を尊重し合う環境だからこそ、多くの発見ができます。休み時間には、友達と英語をはじめとした現地の言語を使って話をし、日本と外国のよさを感じることができました。

附属名古屋中学校の帰国学級に通い始めたことで、私にとっての学校は安心して楽しむことができる場所になりました。そんなE組は、自分らしさを大切にできる「いい」組です！



令和3年度 2年生
シンガポールより帰国

まずE組、帰国学級と聞いて何をイメージするでしょうか。おそらく多くの人が「英語がしゃべれそう」や「人数が少ないから困ったことがあったら、すぐに助けてくれそう」などと思っ浮かべると思っます。確かにそれは事実です。しかし、それだけがE組のよさではありません。E組ではお互いの個性を、少人数だからこそより尊重し合い、活発な意見交流を行い、授業に臨んでいます。また、在留国で学んだ自分の考えを大切に、積極的に発言するといった価値観を生かし、一人ひとりが自分の個性を存分に表現でき、主張し合うことができます。そして学校祭では、その強みを生かすことで、様々なアイデアを生み、よりよい作品をつくり上げることができました。

私は、このE組に入って本当に良かったと感じています。他クラスでは得られない経験がここにありました。ここにしかない私の学校生活がE組で待っています。



令和3年度 3年生
ベルギーより帰国

附中の帰国学級、E組。ここは私たちにとって最高の環境です。
E組の仲間は十人十色で、それぞれの在留経験で培った、考え方・価値観・知識が一人ひとりの個性になっています。そんな仲間とともに、ここでは最高の学校生活を送ることができます。

学習面では、普段の授業は少人数学級のため全員が積極的に参加をした上で、一つの事柄に対して様々な側面から意見を出します。また、一般学級との交流授業では、ひと味違う刺激ももらえます。

生活面では、笑いが絶えない明るい仲間と楽しく生活できます。さらにE組の様々な言語・文化を生かしたイベントがたくさんあり、自身の言語能力を伸ばしたり、互いの文化を学べたりします。

進路面では、自分の夢のために一層努力できる学力補充があります。そして、帰国生徒への理解のもと支えてくださる先生方がいます。

これらは、E組の魅力の一部に過ぎません。ここまで生活が充実し、学びを楽しむことができる附中のE組に入ることができ、私は本当に幸せです。

E組の足あと（令和3年度の行事）

4月 April	入学式、前期始業式 縦割りE組による1年生歓迎会 授業参観、E組保護者会			
5月 May	縦割りAE組結団式 広島的生活（3年生） ※令和3年度は7月に延期して実施			
6月 June	外国語補充 小豆島の生活（2年生） 留学生交流会 （令和3年度はSummer Festival）			
7月 July	校外学習（1年生） 個別懇談会			
8月 August				
9月 September				
10月 October	教育研究発表会 学校祭（縦割りE組での発表） 前期終業式			
11月 November				
12月 December	合唱祭 Winter Festival（1E主催）			
1月 January	E組保護者会 外国語補充			
2月 February	縦割りE組お別れ会 （2E主催）			
3月 March	卒業式 修了式			

帰国生徒教育 Q&A

- Q1. カリキュラムの特色は？**
A: 国語、社会、数学、理科、漢字の学習における未習部分を補うために、課外に1時間の学力補充の時間を設けて、各教科の学習に計画的に取り組んでいます。
- Q2. 一般学級との交流は、どのようにしていますか？**
A: 授業及び各種行事において、一般学級の生徒と一緒に学んだり活動したりする機会を計画的に設けています。
- Q3. 進路状況は、どのようになっていますか？**
A: 公立・私立等、幅広い進路先を自分で考えて選択しています。最近では、帰国生徒受け入れ校も増え、自分の特性をいかすことができる学校へ進む生徒が多くなってきています。